

1. 推進地域の現状と課題及び調査研究の目的

小学校では、教育委員会が作成した副読本を活用しながら、社会、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳を中心に、郷土の伝統文化に関する学習を教育委員会の支援の下実施しているが、多くの教師が地域の実態をつかみきれていないことから、伝統や文化に関わる学習素材が地域に多く存在するにも関わらず、教材研究も含めて授業設計や学習展開等で戸惑っている状況であった。中学校では、総合的な学習の時間を中心に、「地域の課題を解決する学習」の中で、地域の伝統や文化に触れながら、地域と生徒との関わりの在り方や地域振興についての追究が展開されているが、小学校同様、教師が地域の実態を把握しきれていないこともあり、追究が微細的な視点に留まる傾向にあり、我が国の伝統や文化へと視野を広げる追究のあり方が課題であった。また、大町市教育委員会では、ICT 機器の活用の研究を推進しているが、児童・生徒の学習での活用の充実が課題であった。そこで、「地域素材の教材化」「地域の伝統や文化に視点を当てながら、我が国の伝統や文化へと児童・生徒の追究の視野を広げていくための学習の在り方」等、教師のカリキュラム・マネジメント能力の向上に向けて、実行可能な OJT 教員研修の推進や地域を知るための研修のあり方を探ることとした。

同時に、教育の情報化推進に向け、タブレット PC をはじめとした様々な ICT 機器を活用した学習の充実を図るため、デジタル資料集と学習成果のデータベース化を兼ねた web サイト「大町のひみつ」を開発し、活用法を探ることとした。

2. 調査研究の実施内容

(1) 具体的な実施内容 類型【 I . II . III 】

①カリキュラムの開発、指導方法の工夫・改善に関する実践研究について

大町市で使用されている教科書と各学校の指導計画や、教育委員会編集の郷土学習用副読本の活用状況を分析し、小・中学校での伝統や文化の扱いについての系統的な教材の配列表を作成した。配列表に基づき、各学校の実態に応じて、学習に取り組み、成果については、授業実践者に聞き取り調査を行った。同時に教育の情報化の視点から、タブレット PC を活用した主体的な調査活動についても検討を行った。

②教材、指導資料等の作成について

「衣・食・住」「共生」といった観点で、ワークシートを構成し作成した。また、タブレット PC の活用に対応するようデジタル副読本「大町のひみつ」を開発した。「大町のひみつ」は、教師などによる教材データの登録に加え、子供たちも学習成果を登録できるようにし、主体的かつ対話的な学習を可能にした。なお、データベースには、指導方法や資料の活用法も掲載できるように設計した。

※「大町のひみつ」の URL: <http://kyoushoku3.shinshu-u.ac.jp/omachi>

③教員研修プログラムの開発、研修資料等の作成について

校内での OJT 型研修が展開できるような、研修資料を作成した。地域内に存在する伝統や文化に関わる地域素材に触れる、地域巡検型研修の機会を設定した。

デジタル教材検索 [検索条件を指定](#)

種別:教材/学年:小4、小5/教科:社会、理科/分類:文化・生活、社会・歴史、塩の道で検索

全53件 1 2 3

| タイトル | 学年 | 教科 | 月 | 分類 |
|--------------|----------------|----------------|-------|-------------------------|
| 教材 あめ市 | 小1,小2,小3,小4 | 国語,社会,生活,道徳,総合 | 1月,2月 | ことば,文化・生活,社会・歴史,塩の道,その他 |
| 教材 おんべ焼き | 小1,小2,小3,小4 | 国語,社会,生活,総合 | 1月 | 民話,ことば,文化・生活,社会・歴史,その他 |
| 教材 おんべ焼き | 小1,小2,小3,小4 | 国語,社会,総合 | | |
| 教材 お祭り用の石の道具 | 小3,小4,小6,中1,中2 | 社会,総合 | | |
| 教材 ごみのゆくえ | 小4 | 社会,生活 | | |

教材 再現された風穴小屋（南越前山） [主画像を拡大する](#)



石礫のすき間から冷たい風が吹き出す天然の冷風庫です。明治・大正時代ごろには、塩の卵を保存することに使われました。明治時代中ごろになると、桑を育てて蚕を飼い、繭から生糸をつむいで絹に加工する養蚕と製糸業がひろがり、農家では絹がさかんにつくられました。

蚕を飼育するようす
明治・大正時代ごろ、農家では生糸を生み出す蚕を「お蚕様」とよび、大切にしていました。



デジタル教材を印刷

教材 あめ市

通りにそって露店（ろてん）が並ぶ胎（あめ）市「あめ市」は、戦国（せんごく）時代に、今川（いまがわ）義元（よしもと）によって、塩攻めにされた武田（たけだ）信玄（しんげん）方の松本平に、上杉（うえすぎ）謙信（けんしん）が塩を送ったという伝説に基づいて開かれた塩市にちなんでいるとされる。生活必需品である塩を売る「塩市」は、明治以降塩が国の管理となったことから、塩かますをかたどった胎（あめ）を売るようになり、「あめ市」となると伝えられている。現在は、2月11日に商店街に、塩俵をかたどった胎（あめ）や福胎、縁起物（えきぎもの）を売る露店（ろてん）が並び、「あめ市」が催（ひら）かされている。



| 学年 | 教科 | 月 | 分類 |
|-------------|----------------|-------|-------------------------|
| 小1,小2,小3,小4 | 国語,社会,生活,道徳,総合 | 1月,2月 | ことば,文化・生活,社会・歴史,塩の道,その他 |



[研修シート]

チェックシート（地域の実態について理解していることを記入しよう）

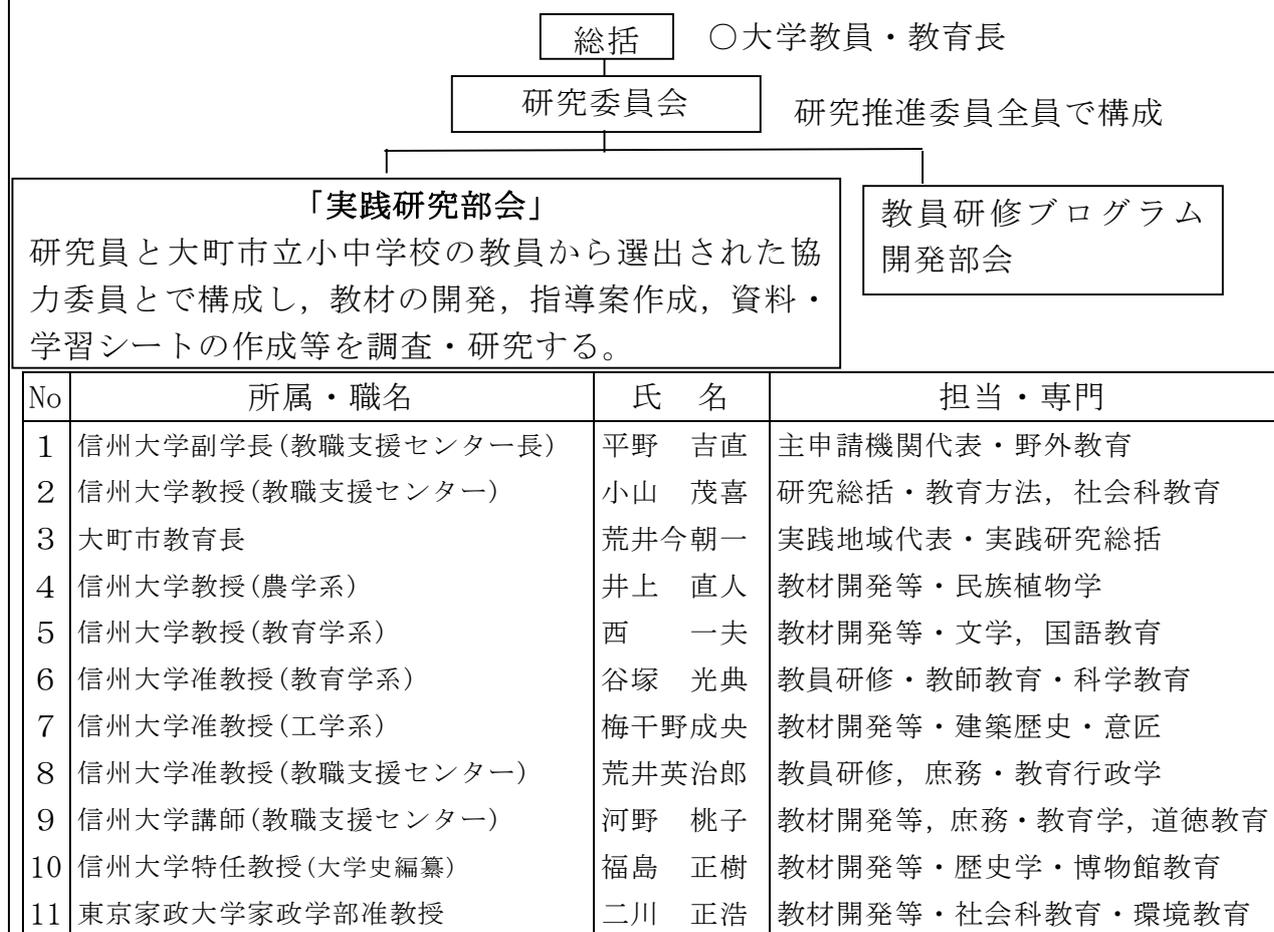
| | |
|---------|--|
| 地名の由来 | |
| 神社・寺院 | |
| 総括的な歴史 | |
| 産業の変遷 | |
| 集落の成り立ち | |
| 自然科学史 | |
| 災害史 | |
| 史跡等 | |
| 石佛等 | |
| 食生活の歴史 | |
| 慣習 | |
| 伝承 | |
| まつり | |
| 方言 | |
| 植生分布 | |
| 生息生物等 | |
| 地質 | |
| 土壌 | |
| 河川 | |
| 地域にある施設 | |

(2) 成果の検証

伝統や文化の教材配列表を作成したことで、教師が意識して地域素材を扱うようになったことから、子供たちの成果物にも、地域の文化を改めて知り、未来につなげていこうとする内容が多く見られた。また、地域巡検等の研修は、参加した教師への聞き取りによると、子供たちの地域への帰属意識を醸成することの大切さを意識した教育実践が増えた。データベース「大町のひみつ」は、授業等で扱う中で、不具合や改善要望を収集し、教師と子供たち双方に、使いやすく改善することができた。同時に、情報発信のツールとしての活用も探ることができ、児童・生徒の学習への活用法も筋道が見えてきたことから、今後の活用の充実が期待できる。

3. 実施体制

伝統・文化に関する教育の充実検討研究会



4. 今後に向けて

教育内容の配列表に基づいた教育実践の充実とそれら教育実践に関する情報の共有が、カリキュラム・マネジメントに関わる教員の資質能力の向上につながるということが明らかになってきたことから、「大町のひみつ」の機能を活用した教員研修の充実を推進したい。

博物館や地域の人材を活用した学習は充実しているが、特別授業という位置づけにどうしてもなりがちなので、通常の授業の設計と展開の中での博物館等の活用法の研究を深め、手引き等を作成し、負担感のない教育実践の充実を図りたい。

教育の情報化の一層の推進をめざし、タブレット PC 等を活用した教育実践の充実を図りたい。